学校法人 東京医科大学 TOKYO MEDICAL UNIVERSITY FOUNDATION　100周年かわら版　2015年（平成27年）8月25日（火曜日）

2016年4月13日の創立記念日まで あと 231 日

地域連携特集「東京医大通りマップ」制作＆大学キャンパスで初の市民公開講座開催決定

東京医大通りマップ制作@新宿

看護学科オープンキャンパスに来てくれる学生さんに東京医大周辺の街の賑いを知ってもらおうということで**「東京医大通りマップ」**を制作しました！マップを参考にオープンキャンパス**参加後、そこで一息ついてもらえれば**。また、**近隣飲食店などの地域のみなさんと本学がより一層お近づきになれるように**という目的もあり、マップ制作にあたっては、医大通り商店会の方々にもご協力いただきました！

今回は受験生が対象ということで、**「100周年」「学祖」「校章」「第一校舎」といった東京医科大学にまつわる4つのエピソードも掲載。**

このマップは今後も、利用シーンに応じてさらに展開していく予定です！みなさんも大学キャンパスにご用の際は、近くのお店をのぞいてみてくださいね！

イラスト・マップのデザインは看護学科1年生の相澤さんが担当してくれました！これも「自主自学」のひとつですね。

100周年さんかく娘♪

大学キャンパスで初の市民公開講座@新宿

そして、11月14日に**大学キャンパスで初となる「市民公開講座」を開催**することも決定。これは**100周年記念としてだけでなく、5年後の2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の連携大学としての取り組みでもあります。**

大学病院では、9月に第100回を迎える市民公開講座。医科大学の使命として、大学キャンパスにおいても地域のみなさんへの社会貢献として、今後も定期的に開催していきます！

東京医科大学市民公開講座　入場無料

演題：「今からできる健康長寿のための運動」

講師：東京医科大学 健康増進スポーツ医学分野 講師　村瀬 訓生

TOKYO OLYMPIC 2020

2020年の東京五輪まであと5年。スポーツや運動は、体力向上や生活習慣病予防等に効果的です。そこで運動のメリットを解説し、効果的なダイエット方法や家庭でもできる健康長寿に役立つ運動の方法をご紹介します！

日時：平成27年11月14日（土）開場 13:30 開演 14:00 閉演 15:00（予定）

会場：東京医科大学 第一看護学科棟 101講義室（東京都新宿区新宿6-1-1）

“新”3大学連携@西新宿

知の集積が西新宿を盛り上げる「医・工・衣」連携を展望

中央：臼井理事長（(学)東京医科大学）
右奥：大沼理事長（(学)文化学園）
右前：髙田理事長（(学)工学院大学）

西新宿では、地元の新宿区新聞社の企画で、西新宿を拠点とする東京医科大学・工学院大学・文化学園大学の理事長が一堂に会し**「新宿副都心を地の集積/学術・文化バレーに！」**と題し、座談会が行われました。

3大学とも西新宿と共に歩んできたこれまでの歴史を振り返りながら、各大学の強みや、各専門領域を活かした地域社会への貢献やグローバル化に向けた取り組み等を確認しました。また3大学が今後新たに連携していくことで、さらに西新宿を盛り上げていければという話もあり、**臼井理事長も「学際を越えた連携をもっと進めていくことで、今まで誰も見たことのない斬新な成果をこの西新宿の地から誕生させられれば」と連携に意欲的**。この模様は紙上座談会として、本日8月25日発行の新宿新聞・新都心新聞に掲載されます。

続　創立100周年記念誌企画「座談会」～医療の場での男女共同参画を考える～

創立100周年記念誌編纂委員として、6月に行われた座談会のオーガナイザーも務めた大久保ゆかり先生に話を聞いた。

大久保ゆかり
医師・学生・研究者支援センター長／皮膚科教授

～これからの東医を担う学生、若手医師に伝えたいこと～

100周年を機に、男女共同参画を掘り下げる

100周年を機にOB、OGから学生まで幅広い層で男女共同参画について語り合うことができた。これまでの本学では、こうしたテーマで横断的に話し合う機会はなかったので、本当に感謝の一言。と同時に、本学の良い点、改善点を出し合い次の課題を見出せたことが非常に良かった。

一生「医師」を続けていく強さを持ってほしい

就業継続には、環境整備や雇用制度の改善に加え、性別関係なく多様性を認める意識改革も大切だが、**何よりも自分自身が“医師としての使命と誇り、続けていく強さ”を持つことが非常に重要。**これを学生のうちから積み上げていくこと、そして医師になってからは、これまで育ててもらったことへの感謝を持って、次は自分が社会に還元していくんだ！という高いモチベーションを維持し、それに向かって努力していくことが必要不可欠だと思う。

医師・学生・研究者支援センターを通じて、学生時代から医師としての職業意識を高める教育や若手医師の皆さんが利用しやすい支援制度の確立に向け、一つずつ諦めずに取り組みを実現させていくことで、多くの医師が臨床や研究を継続できれば嬉しいし、そのための努力は惜しまない。新大学病院ができるまでに、今課題に挙げられている環境整備を進めていければ、と思っている。

医師・学生・研究者支援センター －就業継続・復職支援－
http://www.tmu-shien.com/

平成22年4月からスタート、平成23年度の再生プロジェクトが大きな転機となり、平成25年度、文部科学省補助金事業「女性研究者研究活動支援事業」の採択により、環境整備や勤務体制の改善などに取り組み、**短時間勤務制度（病院助教等）や院内保育園などの整備を実現。**

えんがわ広報。

今回のメインテーマは“地域とのつながり”。
東大久保にある大学や西新宿にある大学病院の周辺はみるみるうちに様変わりし、空を見上げると高いビルが立ち並んだなと感じます。
先日、歴史写真パネル制作時に、平成2年(1990)頃の大学病院周辺の写真を発見！青梅街道沿いにあったお米屋さんは、今、アイランドタワー1階に移転していました。思わずそのお米屋さんを訪ねてみると、その当時から今も変わらず院内保育園の「つくしんぼ保育園」にお米を納品していることを聞いて驚きと感動を覚えました！
地域とともにある本学。そんな私はつくしんぼ保育園にお世話になった一人です・・・。（R）

9月 100近未来動静

9月11日 東京医学講習所開設日

百周年特設サイトリニューアル

100周年かわら版

2015（平成27年）
第8号

発行：東京医科大学創立100周年事業広報委員会

事務局：法人経営企画・広報室
03-3351-6141(内線298)
keiei@tokyo-med.ac.jp

創立100周年特設サイト
http://www.tokyo-med.ac.jp/100years/

★100周年かわら版に関するご感想、ご提案がありましたら、お気軽にメールでお寄せください！＞＞＞keiei@tokyo-med.ac.jp